

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

【 北九州市 】

1 実践テーマ	【 II 】
2 実施対象者	北九州市立香月中学校 全学年（13クラス） 374名 教職員 31名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（おもてなし講座）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもてなし」の心を学ぶ ～「他者を思いやる心・態度」の育成～ ・他者を思いやる心を育てることを通じて他者への理解を深める。 ・国際感覚の豊かな講師からの講演を聞くことによって、多様な世界、文化に親しむ。また、それらを通じて自分の住む地域・社会についても改めて見つめなおす機会とする。 ・講演を通じてまた、前後の学習を通じて他者や多様な世界に積極的にかかわろうとする心構え、態度を育てる。
5 取組内容	<p>10月19日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業について教職員研修を実施。 <p>10月23日（月）～11月2日（木）保健体育の授業にて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックパラリンピック体験でサッカー体験授業を実施。 <p>11月6日（月）各クラスにて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心を「私たち道徳」（温かい人間愛の精神と思いやりの心）を使用し指導。 <p>11月13日（月）各クラスにて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権学習（支えあう心）について学習をすすめる。 <p>12月4日（月）11日（月）各クラスにて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北九州市子どもつながりプログラム」を使用し人間関係づくりのスキルの向上を図る。



	<p>1月15日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料（北海道教育委員会作成）を基に「おもてなしの心」について学習をすすめた。  <p>1月16日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> 講話（江上いずみ筑波大学客員教授）を通じて相手を思いやる心や多様な文化について学ぶ。 <ol style="list-style-type: none"> ① おもてなしの心について ② 見返りや対価を求めない、日本が世界に誇る文化 ③ 第一印象を高めるには、表情・あいさつ・言葉使い等が重要。 ④ 相手を気づかう言葉使い ⑤ 分離礼とノックの仕方、握手の仕方のマナー <p>以上について、体験をまじえながら講話を聞き、「おもてなしの心」「多様な世界、文化」について学び、再認識した。</p> <p>1月17日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> 講話を聞いた後の感想文（振り返り）を行った。
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> 講演を通じて「あいさつ」「姿勢」「身だしなみ」「言葉使い」等「おもてなしの心」に通じる基本的なマナーについて学ぶことができた。 また、国による文化・習慣の違いについても学ぶことができた。 講演前の授業において本市の「子どもつながりプログラム」等を教材として使用し生徒の良好な対人関係の築き方について生徒へ指導することができた。 <p>(生徒の感想より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「礼」の仕方について学びました。私は「礼」と「言葉」が一緒になることが多いです。分離礼について話を聞き、そちらの方がより相手に伝わるとわかり、分離礼を心がけようと思います。 今まで自分の気持ちだけで相手に接してきたことがあり、相手の気持ちを考えて接することの大切さを学ぶことができました。 おもてなしの「心」を「態度」、「言葉」で表すことが大切だと感じました。 講演の先生が今まで誇りを持って仕事に打ち込んできたんだな、と感じました。自分も将来、仕事に対して誇りを持ってのぞもうと思いました。
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本市独自の教材「子どもつながりプログラム」を有効に使用することができた。

<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に講演内容の概要等がわかれば生徒への事前指導により活かせる事ができたと思う。 ・「マナー」「おもてなしの心（他者への理解）」「多様な文化と日本の伝統の、郷土の文化についての理解と尊重する態度」の育成をオリンピック・パラリンピック教育だけにとどまらず、日頃の道徳、学活等でも育成する必要がある。また、継続的に取り組む必要がある。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、「努力」「フェアプレー」「他者への尊敬」「異文化理解」等の項目で道徳、学活の授業を行う予定。 ・体験学習（オリンピック競技・パラリンピック競技）を保健体育の授業等で行い、学習をすすめていく。